

スタッフ紹介!

新しい仲間をご紹介します



建設部
荻澤 です。

未来創造高等学校を3月に卒業し、西條産業建設部に今年の4月から配属が決まりました荻澤(いらさわ)と申します。社会人1年目でまだまだ何もわからなく知識も社会人としてのマナーも未熟な自分ですが諸先輩方の指導の下、充実した一日一日を生活し仕事をいち早く覚え、且つ、会社にも地域にも貢献していけるよう、慣れない部分ばかりで困難に多く当たるとは思いますが精一杯努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

趣味はこれと言ってないですが会社の活動を通して多くのことに積極的に挑戦していきたいのでそちらの活動も楽しみつつ頑張っていきたいです!



総務経理部
小山 です。

昨年7月に入社した小山です。建設会社、リース会社、マンション管理会社で約30年のサラリーマン生活を経て、西條産業の門を叩きました。多種多様な業界で人事、総務、経理を中心に仕事してきましたが、久しぶりの建設業界はおおらかで、活力ある反面、まだまだ成熟感が乏しいとも感じております。

異業種での経験を活かし、西尾部長からのご指導を受けながら、部の仲間と共に西條にとって有益な管理部門のあり方を模索する事が、採用していただいた事への恩返しだと信じ、バックヤードから事業部門を支えていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

小樽を楽しく、元気に!

西條産業は小樽発のフットボールクラブ
「カナーレ小樽」を応援しています。

この度、西條産業では小樽で活動する新・社会人サッカーチーム「カナーレ小樽」(「Canal」(運河)から由来。)を応援する事になりました。

カナーレ小樽は、北海道リーグ No.1を目指す事はもちろん、サッカーを通じた社会貢献を行いながら、「将来カナーレでサッカーをやるために小樽市の企業に就職したい!」と若者に思ってもらえるように積極的に地域貢献活動を行っているチームです。

夢や目標を常に持ち続け、大人になってもしっかり「青春」する彼らをぜひ皆様も応援よろしくお願いします。



西條産業が屋台村を運営してるってご存知ですか?

私達が運営しているおたる屋台村はサンモールを挟んでレンガ横丁、ろまん横丁の2つが向い合せになっており、それぞれに元気で美味しいお店が軒を連ねています。

来る7月6日(土)には、レンガ横丁15周年のイベントも予定しています。この機会に是非、おたる屋台村に足をお運びください。

詳しくはホームページまで → <http://otaruyataimura.jp>



編集後記

今回から編集委員会のメンバーが新しくなりました。慣れない編集メンバーが悪戦苦闘しながらの制作でしたが、何とか形にできて、ほっとしております。

西條の今を伝えるこの冊子ですが、今回は木材のプロとしての弊社をアピールさせていただきました。戸建てだけじゃない、西條の木造建築のダイナミズムを少しでも感じていただけたなら幸いです。木材のことならどんなことでも、西條産業にご相談ください。

記:小山

JOYパートナーズ

vol.22

発行日: 令和元年6月吉日
編集・発行: 西條産業株式会社



西條産業株式会社
代表取締役
西條 文雪

みなさん、令和の新時代がスタートしました。お陰様で住宅建築も好調ですが、木材を使った建築物の需要が増え、それに伴って「木のプロ」としてのわが社の評価も高まっています。これからも専門分野を活かしながら、地域のために社員一同、邁進していきます。わが社も来年70周年ですが、ステップ・バイ・ステップで前進していきますので、ご支援よろしくお願ひします。

木を知るということ

見て、触れて、ぬくもりが伝わる
「木」という素材と共に、
私たちは歩んでまいりました。



住宅関連補助制度を利用したリフォームについてもお気軽にご相談ください

お問い合わせ先: 建設部

0134-25-5015



JOYハウスのイベントやお知らせ情報を随時更新中!

facebook 西條産業 いいね!
もご覧下さい! <https://www.facebook.com/saijosangyo>

西條産業株式会社 ☎ 0134-25-5011

本社/小樽市有幌町2番16号 FAX 0134-34-1465
支店/札幌市東区北25条東9丁目2番6号 ☎011-751-0101・FAX011-751-0104

<http://www.saijosangyo.co.jp/>
E-mail: mail@saijosangyo.co.jp

大型の工事も担っています

■〈羽幌〉大型豚舎の建築工事

ここでも、西條が積み重ねた知識と経験が生かされています。

「北海道中央牧場 羽幌農場新築工事」
敷地面積：59,437.51㎡ 建築面積：16,927.41㎡
延べ床面積：16,262.29㎡

木を知り 木を生かす仕事

大型木造工事は、鉄骨構造に比べて軽量なため基礎工事などのコストを抑えることができ、現場での施工性も優れていると言われています。

また、家畜の糞尿による腐食耐用年数が長いという点も木造畜舎の大きなメリットといえます。

今回の工事では、トラスという三角形の骨組みを組合せて変形に強い構造体を作る工法を採用し、間仕切壁等の支持壁が無くても大スパン（柱芯間の距離）の設計が出来る構造上のメリットを実現しました。



通常トラスは1枚1枚建てますが、当社の施工では、地面で地組して接合する方法で建て方をし、施工効率と建て方精度の向上を図っています。



間口25m、奥行110mと大規模な建物のため、精度管理が困難です。建て方工事中に何度も寸法を当たり、調整することによって建物全体の精度を上げています。



木材

国が定める「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」には、地球温暖化の防止、循環型社会の形成などの言葉が並びます。近年、廃プラスチックゴミの海洋投棄などが世界的な問題になっており、紙ストローへの転換などが取りざたされていますが、木材は再生し、再利用できる点で優れた素材なのです。

西條で保管していた端材を有効利用していただいています

端材を利用したプレートで、メニューやイベント告知をされていました。



ゆるり庵



古民家を利用したカフェは、端材を再利用した薪で暖められます。



寒い古民家が端材で

健康応援社 小林 恵里子



私たちが暮らす築104年の古民家は、古くて広い。だから薪ストーブでなければ暖まりません。一年中かけて薪を集めていますが足りず、その作業は想像以上につらいものでした。昨年、腰を痛めていた時「切ってあげますよ」と大きな切り株を薪の大きさに切って下さいました。そして「うちの端材をあげましょう」と言っていただきました。きれいで煙も出ないし、しかも廃材と違って木の香りがかぐわしいのです。優しくここにこした対応に、家も心もボカボカになります。

西條産業は 木のプロ なんです

弊社は昭和25年に西條木材という社名で創業しました。以来、木材を中心とした商社として、木材加工や建設資材等製品制作、さらには一戸建て住宅建築、そして今回ご紹介する大型木造建築など、木を取扱うプロとしての経験や技術を活かす仕事に全力を傾けてまいりました。



M公園案内所



R村子供センター



S町体育館

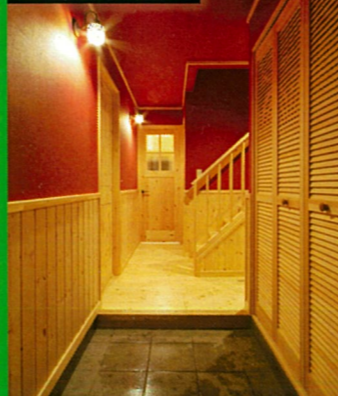


H町にぎわい広場

皆さんの生活に密着した買い物場や、子供たちの成長を育む施設にも、西條産業の木の技術が活かされています。



創業から木と共に歩んできた西條産業の注文住宅 JOYハウス
木のぬくもりを感じさせる癒しの生活空間をご提案します。



ただ今、JOYタウン奥沢にてモデルハウスを公開中です。
この機会に是非、足をお運びください！